

(株)東京航業研究所、(有)文化財 COM

6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。特に、大井氏館跡遺跡第14地点の調査にあたっては富士見市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。また、江川南遺跡第19地点の調査にあたっては上福岡市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。記して厚く感謝の意を表したい。

〈発掘調査参加者〉(敬称略)

新井和枝、飯塚泰子、井上晴江、内田潔、大曾根キク子、笠原英子、加藤智香子、金子君子、小林こずい、河野匠、河野格、酒井昭、佐久間ひろ子、篠崎忠三、鈴木英子、鈴木エミ子、鈴木勝弘、関田成美、高貝しず子、戸澤竹二、中嶋末子、野岡由紀子、林きぬ子、比嘉洋子、増沢勝実、村端和樹、若尾久美子、若林紀美代

(富士見市教育委員会) 飯田久子、上田寛、川上文明、佐々木真理子、島田仁、清水七枝、関根輝子、高野ナミ、塚本政勝、戸田美根子、富田茂夫、中川和弘、成田淑美、成田良一、羽田美代子、吉田信江

(上福岡市教育委員会) 長田弘毅、壱岐ヒサ子、井川弘、宇佐美弘澄、遠藤忠志、小田静夫、小野沢保孝、菊口繁子、西城満期子、鈴木ちい、滝沢久嘉、富寺佐代子、中村正、宮崎達夫、吉田寛

〈整理作業参加者〉(敬称略)

青山奈保美、石垣ゆき子、大久保明子、小林登喜江、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、中田藤子、福島雅子、山口妙子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

(1) 縮尺は原則として

遺構配置図 1 : 300 遺構平面図・遺物出土状況図 1 : 60、1 : 30 炉などの詳細図 1 : 30
土器実測図 1 : 4 土器拓影図 1 : 3 石器実測図 1 : 3、2 : 3 銭 1 : 1

(2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。

(3) 遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示。

攪乱  地山(ローム)  焼土 
土器 ● 石器★ 黒曜石・チャート▲ 礫○

(4) 土器実測図における screen-tone の指示。

地文縄文  撚糸文 

(5) 土器断面図は、「網目」が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。

2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。

3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

第2表 2002年度埋蔵文化財調査一覧表

	遺跡・地点名	申請地	面積(㎡)	原因	試掘期間	調査期間	備考
1	亀居遺跡第56地点	亀久保2-13-14	172	個人住宅	—	2002.11.5~11.21	教育委員会で本調査
2	鶴ヶ舞遺跡第6地点	鶴ヶ舞1-84	474	個人住宅	2002.9.10~9.13	—	試掘調査
3	江川南遺跡第16地点	東久保1街区	3,752	給油所	2002.9.24~10.4	—	試掘調査
4	江川南遺跡第17地点	東久保1街区20,22,23	474	土地区画整理	2002.10.29~11.11	—	試掘調査
5	亀久保堀跡遺跡第27地点	東久保31街区2,3画地	980	店舗	2002.6.10~6.11	—	試掘調査
6	東久保遺跡第50地点	東久保3-22	102	個人住宅	2002.9.24	—	試掘調査
7	東久保遺跡第51地点	東久保18-11画地	155	個人住宅	2002.12.3	—	試掘調査
8	東久保遺跡第52地点	東久保4街区3画地	64	個人住宅	2003.2.6~2.7	—	試掘調査
9	東久保西遺跡第15地点	東久保9街区3画地	225	個人住宅	2003.2.3~2.5	—	試掘調査
10	東久保南遺跡第27地点	東久保63街区1画地	610	共同住宅	2002.5.29~6.7	—	試掘調査
11	東久保南遺跡第28地点	東久保60街区3・4画地	322	共同住宅	2002.9.13~9.21	—	試掘調査
12	東久保南遺跡第29地点	東久保64街区1・4画地	736	駐車場	2003.3.17~3.20	—	試掘調査
13	西ノ原遺跡第122地点	大井苗間西ノ原99-1	165	個人住宅	—	2002.6.21~7.22	教育委員会で本調査
14	西ノ原遺跡第122地点	大井苗間西ノ原99-1	155	個人住宅	—	2002.6.21~7.22	教育委員会で本調査
15	西ノ原遺跡第122地点	大井苗間西ノ原99-1	132	個人住宅	—	2002.6.21~7.22	教育委員会で本調査
16	西ノ原遺跡第122地点	大井苗間西ノ原99-1	140	個人住宅	—	2002.6.21~7.22	教育委員会で本調査
17	西ノ原遺跡第123地点	大井・苗間19街区10画地	252	共同住宅	2002.9.3~9.9	—	試掘調査
18	西ノ原遺跡第124地点	苗間137-2	524	個人住宅	2002.10.2~10.6	2002.10.8~10.11	教育委員会で本調査
19	西ノ原遺跡第125地点	旭1-8-2	182	個人住宅	2003.2.14~2.19	—	試掘調査
20	中沢前遺跡第20地点	大井・苗間33 35-8-1	762	老人介護施設	2003.2.3~2.5	2003.4.7~6.3	試掘後、調査会で本調査
21	中沢前遺跡第24地点	大井・苗間30-5	185	個人住宅	2003.2.7~2.13	—	試掘調査
22	神明後遺跡第18地点	苗間304-1,303-6	672	分譲住宅	2002.5.15~5.25	2002.5.27~6.21	試掘後、調査会で本調査
23	神明後遺跡第19地点	苗間264-4	216	個人住宅	2002.9.18~20	—	試掘調査
24	神明後遺跡第20地点	苗間293-11	143	個人住宅	2003.1.14~1.15	—	試掘調査
25	神明後遺跡第21地点	苗間283-1	674	造成	2003.1.10~1.30	—	試掘調査
26	浄禅寺跡遺跡第22地点	苗間373-5,377-5・3・4,373-8	935	分譲住宅	2002.4.23~5.14	—	試掘調査
27	大井宿遺跡第7地点	大井・苗間37街区14画地	257	事務所	2002.4.15~4.16	—	試掘調査
28	大井宿遺跡第9地点	大井1-3-14,15	1,617	宅地造成	2003.2.26~4.3	2004.7.30~9.3	試掘後、調査会で本調査
29	大井氏館跡遺跡第14地点	大井・苗間129街区2画地	984	共同住宅	2002.5.22~6.6	2002.6.20~8.9	試掘後、調査会で本調査
30	大井氏館跡遺跡第15地点	大井・苗間126街区1画地	135	個人住宅	2002.7.24~8.2	—	試掘調査
31	大井氏館跡遺跡第16地点	大井2-242-1	677	個人住宅	2002.8.5~8.22	2002.8.23~9.5	教育委員会で本調査
32	大井氏館跡遺跡第17地点	大井1-11-9	50	道路	—	2002.11.19~12.2	教育委員会で本調査
33	大井氏館跡遺跡第18地点	大井・苗間80-6-9	476	個人住宅	2003.1.17~1.22	—	試掘調査、大井宿8地点を変更
34	本村遺跡第99地点	大井・苗間99-1	446	共同住宅	2002.6.19~21	2002.7.1~7.31	試掘後、調査会で本調査
35	本村遺跡第100地点	大井・苗間85街区7画地	463	分譲住宅	2002.8.20~8.26	—	試掘調査
36	本村遺跡第101地点	大井・苗間131-2	217	店舗併用住宅	2002.9.30~10.4	—	試掘調査
37	本村遺跡第102地点	大井・苗間101-7画地	1,264	共同住宅	2002.11.11~11.15	2002.12.11~2003.2.10	試掘後、調査会で本調査
38	本村遺跡第103地点	大井143	237	個人住宅	2003.2.13~2.18	—	試掘調査
39	本村遺跡第113地点	東原52-22	1,051	駐車場	2002.8.22	—	試掘調査、地点を後付加
40	東台遺跡第39地点	大井626-8	100	個人住宅	2002.6.3~6.20	—	試掘調査
面積合計			21,181				



第107図 東台遺跡の調査区と遺構分布図 (1/2,000)

2 東台遺跡第39地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2002年5月20日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央に位置し、隣地では縄文時代の住居跡を検出しているため、原因者と協議の結果、遺構確認の試掘調査を実施した。

調査は2002年6月3日から同年6月20日まで行なった。重機で調査区全面の表土を除去し、人力による表面精査を行なった結果、ピット5基を検出した。確認面まで40cmを測る。検出した遺構を調査し、写真撮影・遺構測量等記録保存を行なったうえ埋め戻し調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

第57表 東台第39地点ピット一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
1	円形	25 × 23	8 × 7	40	
2	不明	82 × 45	33 × 31	26	
3	楕円形	50 × 43	21 × 21	42	

【出土遺物】 1と2は遺構外出土の黒曜石製の剥片で、各側面に刃があり、0.36gである。他に黒曜石とチャートの石屑5点と縄文中期土器細片28と、近世の陶磁器4片が出土したが細片のため割愛した。

3 東台遺跡第40地点

(1) 調査の概要

調査は幼稚園建設に伴うもので、原因者より2003年9月23日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央に位置し、北側では縄文時代の住居跡跡を多数検出しているため、原因者と協議の結果、遺構確認の試掘調査を実施した。

調査は2003年10月6日から同年11月4日まで行なった。幅約2mのトレンチ7本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、一部で遺構を確認した。遺構の性格を確認するためさらに重機で遺構範囲の表土を除去し、人力で調査した結果、柵列、土坑、ピットであった。確認面まで40～60cmを測る。写真撮影・遺構測量等記録保存を行ない調査を終了した。

(2) 遺構

【柵列】 調査区の中央に位置する。東西方向に37m

検出した。土地境の柵列と思われる。径20～60cm、深さ35～95cm。平面形態は方形が多い。

第58表 東台遺跡第40地点土坑一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
1	不整形	141 × 128	132 × 105	50	
2	不明	220 × 178	203 × 155	25	
3	不整形	294 × 240	287 × 216	15	
4	円形	117 × 112	100 × 91	29	
5	楕円形	98 × 84	71 × 59	19	
6	不明	220 × 160	186 × 145	48	

第59表 東台遺跡第40地点ピット一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
1	楕円形	29 × 23	13 × 10	52	旧1トレ P1
2	円形	36 × 32	9 × 9	25	旧2トレ P1
3	円形	31 × 23	16 × 14	23	旧2トレ2-3グリッドP
4	円形	51 × 50	23 × 16	23	旧4トレ P1
5	楕円形	65 × 56	39 × 37	24	旧4トレ P2
6	不明	(79) × (64)	61 × 48	16	旧4トレ P3
7	不明	(45) × 33	36 × 22	88	旧4トレ P4
8	不明	(41) × 36	13 × 9	102	旧5トレ P1
9	不整形	68 × 31	11 × 10	104	旧7トレ P1
10	楕円形	51 × 36	30 × 18	34	

【出土遺物】 ピットから縄文土器細片4・遺構外から縄文土器細片92と陶磁器片23が出土したが割愛した。時期のわかる縄文土器は加曽利EⅡ式で、陶器は近世後半のもの。1はトレンチ出土のチャート製の小形石礫で重さ0.62gである。2は青銅製のキセルの雁首で長さ4.9cm、火穴の径1.5cmである。共にトレンチ出土で、縄文中期と近世後期のもの。

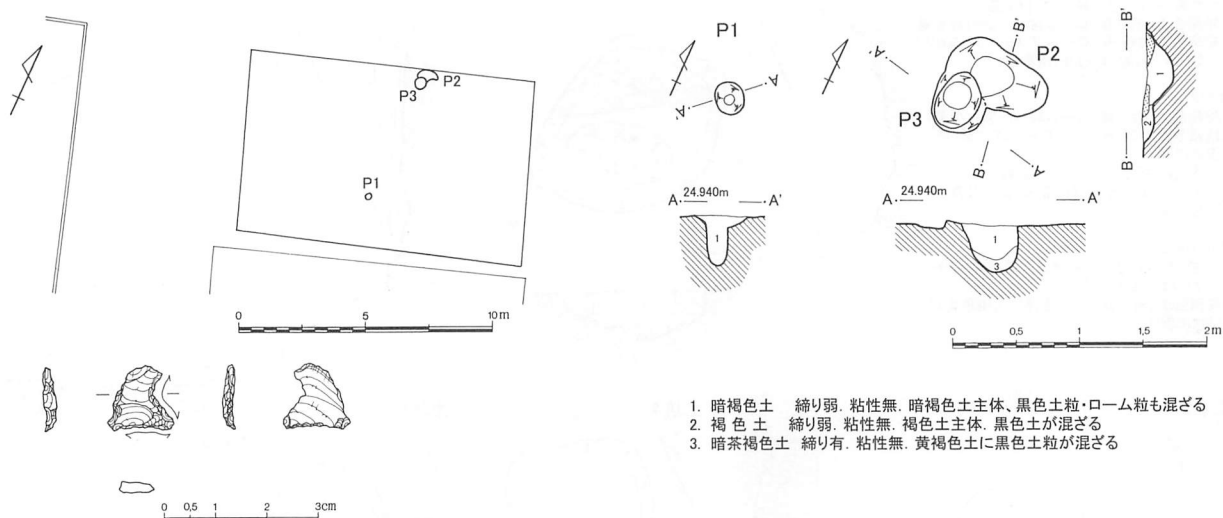
4 東台遺跡第41地点

(1) 調査の概要

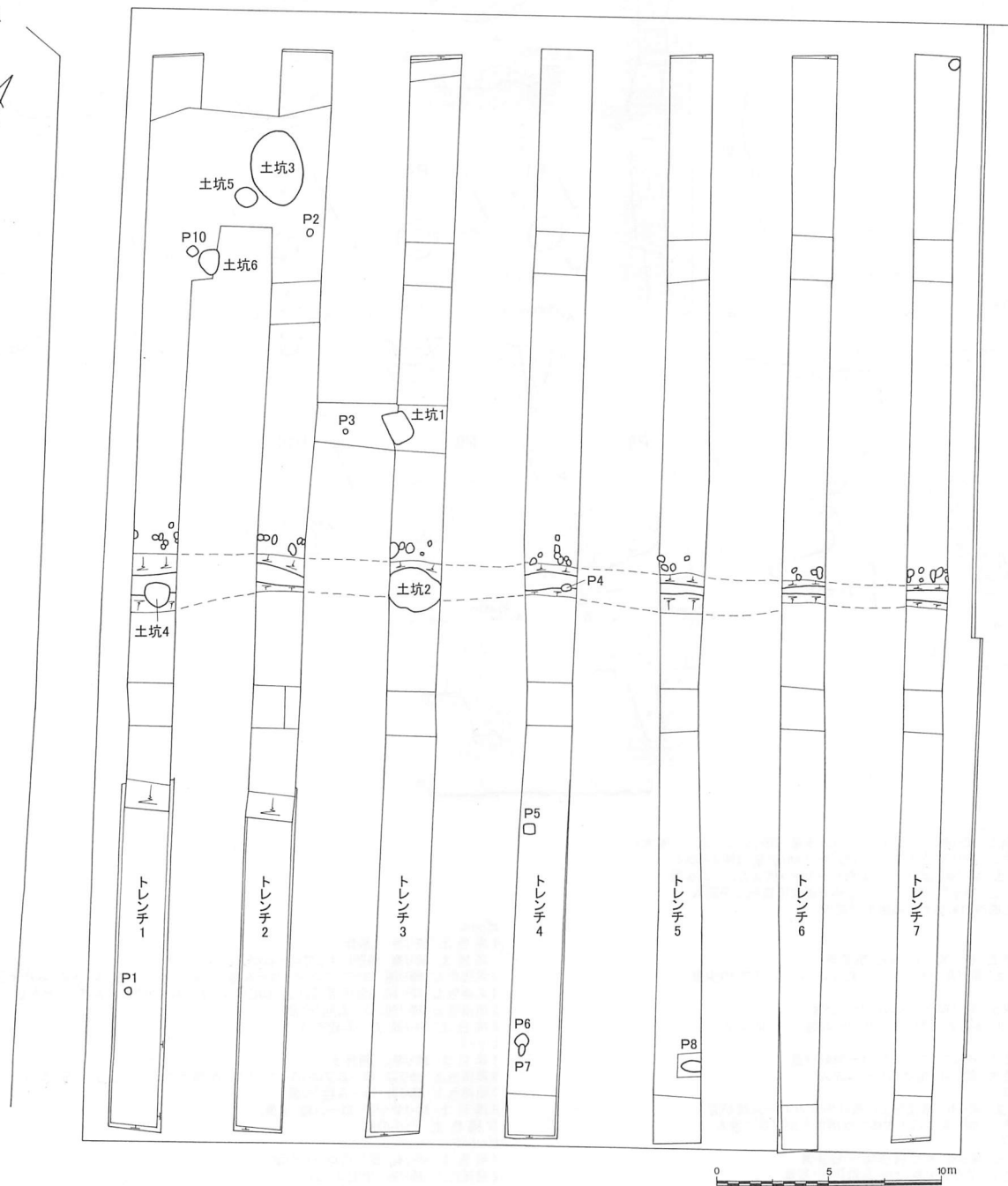
調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2004年4月13日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央に位置し、隣接地からは縄文時代の住居も検出しているため、原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

試掘調査は2004年5月11日から同年5月14日まで行なった。幅約2mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果遺構を確認した。さらに重機で遺構範囲の表土を除去し、人力で調査した結果、住居跡を3軒検出したが、確認面まで60cmを測り、建築による遺構への影響がないため慎重工事とし、写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し調査を終了した。

39地点



40地点



第108図 東台遺跡第39・40地点遺構配置図（1/300）、ピット（1/60）、出土遺物（2/3）



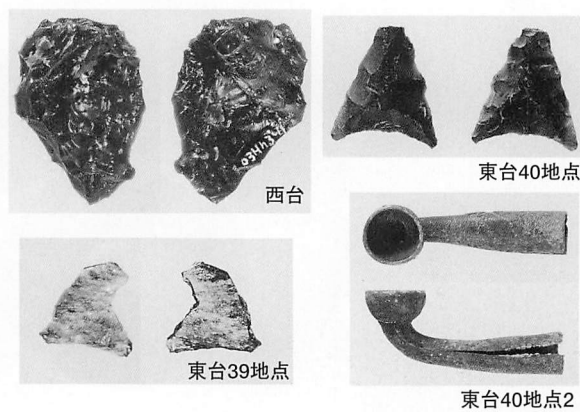
東台遺跡第39地点試掘調査



東台遺跡第40地点試掘調査



東台遺跡第40地点土坑・ピット



西台遺跡第3地点・東台遺跡第39・40地点出土遺物



東台遺跡第41地点試掘調査



東台遺跡第41地点90号住居跡



東台遺跡第41地点集石



東台遺跡第41地点土坑